

しんきん脱炭素応援ファンド 内藤建設に1億円投資

しんきん脱炭素応援ファンド 東海三県内第1号投資実行 発表式



しんきん脱炭素応援ファンドの投資実行発表式に臨んだ内藤宙社長(中央)ら＝岐阜市神田町、岐阜信用金庫本部

東海第1号、建設業初

信金中央金庫などが出資する「しんきん脱炭素応援ファンド」は、建設業の内藤建設(岐阜市六条南)に1億円を投資した。全国各地にある信用金庫の取引先の脱炭素支援が目的で、東海3県での1号案件。建設業への投資は初めて。

同社は、既存建物の骨組みを再利用し、二酸化炭素(CO₂)や廃材の排出量を減らすことができるリファ

インング建築や、「ZEH(ゼッチ)」や「ZEB(ゼブ)」といった環境配慮型の住宅などを手がけている。取引先の岐阜信用金庫が推薦した。

ったものをどんどん取り入れており、発展を期待している」と述べた。

同ファンドは、地域の脱炭素化に資する事業への資金供給を目的に今年4月に設立。出資者は信金中央金庫と子会社の信金キャピタル、脱炭素化支援機構(JICN)。出資総額は20億円。